

新年のあいさつ

組合長あいさつ

新年明けましておめでとうございます。

昨年は真田丸の放映があり、天候不順にも悩まされたりと、毎月明暗が目まぐるしく変わる年でもありました。それでも結果的には客数、売上とも伸ばす事ができほっと一息という年末でした。

昨年 11 月には、県から長野県園芸特産業関係功労者表彰をあさつゆが直売所として受賞するという嬉しい出来事もありました。直売所としての受賞は県下でも 2 番目というもので、直売所と生産の現場が一体になった取り組みを評価されたのは、私たちが目指している方向性にたいする評価として嬉しいものでした。

いろいろな面で、あさつゆは未完成の直売所ですが、その分まだまだ伸びしろがあると考えています。今年も、頑張っ、楽しみながら直売の事業を進めましょう。この道は終わりのない長い道のりです。焦らずゆっくりと、着実に歩みを進められれば最高、と考えています。

今年も宜しく願い致します。

平成 29 年 元旦

あさつゆ運営組合長 伊藤良夫

1月～2月上旬の農作業

作物名	作業	作業のポイント
パセリー (ハウス 冬播き)	は種・ 育苗	<p>【播種：1月上旬～2月中旬、定植：3月下旬～4月上旬、収穫：5月上旬～10月下旬】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発芽率を高めるため、種を一晩流水にさらし、2時間程度陰干しする。 ・パイプハウス内の2重トンネルに100W/3.3㎡の電熱配線をし、床土(pH6.0～6.5)を入れた播種箱を並べる。 ・十分かん水した床土に、① 5～6cm 間隔の深さ 0.2～0.3cm の溝をつけて条まきするか、② 平床にばら播きする。は種後は軽く鎮圧して薄く覆土する。 ・覆土後は有穴ポリなどをかけ、発芽までは床土・育苗培土の乾燥防止と保温に努める。 ・発芽適温は 15～25℃。適温でも発芽まで 10 日前後かかるので、日中の温度管理には注意する。発芽後は日中 20℃、夜間の最低気温 10～12℃を目安に管理する。
キク	挿し芽	<ul style="list-style-type: none"> ・6～7月出荷作型は 1 月下旬～2 月が挿し芽時期。挿し芽予定の 60 日前より昼温 15～20℃、夜温 5～7℃になるように保温マットや温床線で温度確保する。昼間は 20℃以下を目標とし、25℃以上にならないように換気する。 ・側枝が 8～10cm 位の時期に採穂し、挿し穂の長さ 5～6cm で展開葉 3～4 枚以上のものを確保する。 ・挿し芽床には通気性・保水性があり、雑菌が少ないものを利用する。 ・挿し穂は下葉を 1～2 枚除去し、2～3cm × 1.5～2cm 間隔で深さ 2cm に挿す。



伊藤 組合長

セルリーの品質低下

「今年セルリーを栽培したある組合員から、①セルリーの丈が伸びない、②収穫したセルリーが硬かった。という相談を受けました。栽培がうまくいった組合員もいますが、その差はなんですか？

原因はいずれも「かん水不足」によるものではないかと考えられます。

セルリーは栽培に多量のかん水が必要な作物で、諏訪地域（標高約 1,000m）などのセルリー産地では良質なセルリー生産のため、ほ場にかん水パイプが設置されているほどです。適切な施肥とかん水を行うことで入りやすじ入りのない高品質なセルリーが収穫できるようになります。以下にセルリー栽培におけるポイントをまとめてみます。

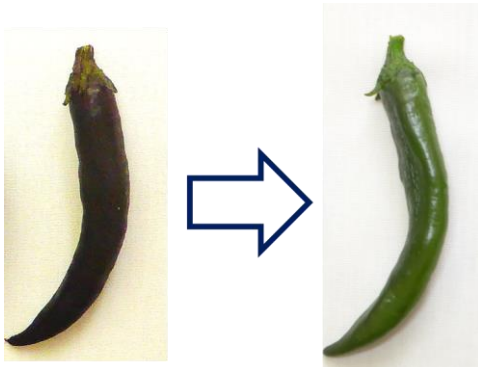
- ① 野菜の種類の中で最も多肥栽培であるとともにかん水回数や量が多い品目であるため、かん水できる畑を選ぶ。
- ② 定植後 7～10 日まで短い間隔で数回行い、活着後は株張りを良くするため 1 回のかん水量を若干増やし、間隔は長くとる。心葉が立ち始めた頃より間隔を縮めていく。収穫 20 日前あたりからかん水は毎日行う。一般的なかん水は、うね間に水がたまる状態を見てかん水時間を決定する。
- ③ 夏期、日中高温時の多量のかん水は軟腐病を誘発しやすいので注意する。
- ④ 高品質なセルリー生産には、昼温 18℃、夜温 13℃、地温 18℃前後で栽培するのが良いとされている。上田市（標高 503m）では、4月下旬頃から最高気温の平均（昼温）が 20℃を超えるため、晩秋播きハウス（要暖房。定植 3 上～3 下）栽培により、5月中旬～6月上旬までに収穫を行いたい。



普及指導員

『ちょっとめずらしい野菜』直売所で見つけました！！

第4回【紫ししとう】



【写真】加熱前（左）と加熱後（右）
の色の変化

あさつゆ連絡先

電話番号：0268-41-1062

FAX：0268-41-1063

奈良県の伝統野菜（大和野菜）の1つ。ナスのような紫色が目を引きます。この紫色は加熱により失われ、写真のように沸騰水の中で1～2分間加熱すると「ししとう」のような緑色に変化します。加熱時間を短めにするると紫色を活かした料理ができそうです。本場の奈良県では「焼き物」、「天ぷら」、「つくだ煮」として食べられています。味はししとう同様に辛味はほとんどありません。

発芽、生育適温は 25～30℃です。は種は3月～4月頃にトンネルを用いて行い、5月頃定植を行います。長さが 5cm となった頃に収穫します。

【参考資料】2017 ナント種苗総合カタログ

技術事項作成協力

上小農業改良普及センター（小林（裕））

電話番号：0268-25-7156（直通）FAX：0268-23-2161